

# 社会福祉法人 地域でくらす会 定 款

## 第1章 総 則

### (目 的)

第1条 この社会福祉法人（以下「法人」という。）は、ノーマライゼーションの理念に基づき、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、次の社会福祉事業を行なう。

#### (1) 第2種社会福祉事業

- (イ) 老人デイサービスセンター いくのさん家の経営
- (ロ) グループホーム いくのさん家の経営
- (ハ) グループホーム 井上さん家の経営
- (ニ) 老人ホームヘルプサービス事業の経営
- (ホ) 障害者生活支援センター事業の経営
- (ヘ) 相談支援事業 障害者生活支援センターまちくらの経営
- (ト) 障害福祉サービス事業 ヘルパーステーションまちくらの経営
- (チ) 障害福祉サービス事業 ヘルパーステーション蔵まちの経営
- (リ) 障害福祉サービス事業 日中活動まちくら（就労継続支援・生活介護）の経営
- (ヌ) 移動支援事業 ヘルパーステーションまちくらの経営
- (ル) 移動支援事業 ヘルパーステーション蔵まちの経営
- (ヲ) 小規模多機能型居宅介護 いくのさん家の経営
- (ワ) 小規模多機能型居宅介護 木守舎の経営
- (カ) 老人デイサービスセンター まちくらの経営
- (ヨ) 小規模多機能型居宅介護 大郷いくのさん家の経営
- (タ) 老人デイサービスセンター 吉方温泉いくのさん家の経営
- (レ) 障害福祉サービス事業 みんなの処（生活介護）の経営

### (名 称)

第2条 この法人は、社会福祉法人 地域でくらす会という。

### (経営の原則)

第3条 この法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行なうため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図るものとする。

### (事務所の所在地)

第4条 この法人の事務所を鳥取県米子市西倉吉町83番地3に置く。

## 第2章 役員及び職員

### (役員の数)

第5条 この法人には、次の役員を置く。

- (1) 理事 6名
  - (2) 監事 2名
- 2 理事のうち1名は、理事の互選により、理事長となる。
  - 3 理事長が、この法人を代表する。
  - 4 役員を選任に当たっては、各役員について、その親族その他特殊の関係があるものが理事のうち1名を超えて含まれてはならず、監事のうちこれらの者が含まれてはならない。

### (役員の任期)

第6条 役員任期は2年とする。ただし、補欠の役員任期は、前任者の残任期間とする。

- 2 役員は再任されることができる。
- 3 理事長及び業務理事の任期は、理事として在任する期間とする。

### (役員選任等)

第7条 理事は、評議員総数の3分の2以上の同意を得て、理事長が委嘱する。

- 2 監事は、評議員会において選任する。
- 3 監事は、この法人の理事、評議員、職員及びこれらに類する他の職務を兼任することができない。

### (役員報酬等)

第8条 役員報酬については、勤務実態に即して支給することとし、役員地位にあることのみによっては、支給しない。

- 2 役員には費用を弁償することができる。
- 3 前2項に関し必要な事項は、理事会の議決を経て、理事長が別に定める。

### (理事会)

第9条 この法人の業務の決定は、理事をもって組織する理事会によって行なう。ただし、日常の軽易な業務は理事長が専決し、これを理事会に報告する

- 2 理事会は、理事長がこれを招集する。
- 3 理事長は、理事総数の3分の1以上の理事または監事から会議に付議すべき事項を示して理事会の招集を請求された場合には、その請求があった日から1週間以内にこれを招集しなければならない。
- 4 理事会に議長を置き、議長はその都度選任する。
- 5 理事会は、理事総数の3分の2以上の出席がなければ、その議事を開き、議決することができない。
- 6 前項の場合において、あらかじめ書面をもって、欠席の理由及び理事会に付議される事項についての意思を表示した者は、出席者とみなす。

- 7 理事会の議事は、法令に特別の定めがある場合及びこの定款に別段の定めがある場合を除き、理事総数の過半数で決定し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 8 理事会の決議について、特別の利害関係を有する理事は、その議事の議決に加わることができない。
- 9 議長及び理事会において選任した理事2名は、理事会の議事について議事の経過の要領及びその結果を記載した議事録を作成し、これに署名または記名押印しなければならない。

#### (理事長の職務の代理等)

- 第10条 理事長に事故あるとき、または欠けたときは、理事長があらかじめ指名する他の理事が、順次に理事長の職務を代理する。
- 2 業務理事に事故あるとき、または欠けたときは、理事長が業務理事の職務を行なう。
  - 3 理事長個人と利益相反する行為となる事項及び双方代理となる事項については、理事会において選任する他の理事が理事長の職務を代理をする。

#### (監事による監査)

- 第11条 監事は、理事の業務執行の状況及び法人の財産の状況を監査しなければならない。
- 2 監事は、毎年定期的に監査報告書を作成し、理事会、評議員会及び鳥取県知事に報告するものとする。
  - 3 監事は、前項に定めるほか、必要があると認めるときは、理事会及び評議員会に出席して意見を述べるものとする。

#### (職員)

- 第12条 この法人に、職員若干名を置く。
- 2 この法人の設置経営する施設の長（以下施設長という。）は、理事会の議決を経て理事長が任命する。
  - 3 施設長以外の職員は、理事長が任命する。

### 第3章 評議員及び評議員会

#### (評議員会)

- 第13条 評議員会は、13名の評議員をもって組織する。
- 2 評議員会は理事長が招集する。
  - 3 理事長は、評議員総数の3分の1以上の評議員または監事から会議に付議すべき事項を示して評議員会の招集を請求された場合には、その請求のあった日から20日以内に、これを招集しなければならない。
  - 4 評議員会に議長を置く。
  - 5 議長は、その都度評議員の互選で決める。
  - 6 評議員会は、評議員総数の過半数の出席がなければ、その議事を開き、議決することができない。
  - 7 評議員会の議事は、評議員総数の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

- 8 評議員会の決議について、特別の利害関係を有する評議員は、その議事の議決に加わることをできない。
- 9 議長及び評議員会において選任した評議員2名は、評議員会の議事について議事の経過の要領及びその結果を記載した議事録を作成し、これに署名または記名押印しなければならない。
- 10 評議員の報酬については、勤務実態に即して支給することとし、評議員の地位にあることのみによっては、支給しない。

#### (評議員会の権限)

第14条 評議員会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 予算、決算、基本財産の処分及び担保提供、事業計画並びに事業報告
  - (2) 予算外の新たな義務の負担または権利の放棄
  - (3) 定款の変更
  - (4) 合併
  - (5) 解散（合併または破産による解散を除く。以下この条において同じ。）
  - (6) 解散した場合における残余財産の帰属者の選定
  - (7) その他、この法人の業務に関する重要事項で、理事会において必要と認められる事項。
- 2 理事会は、前項に掲げる事項を決定しようとするときは、原則として評議員会の同意を得なければならない。

#### (同 前)

第15条 評議員会は、この法人の業務若しくは財産の状況または役員の業務執行の状況について、役員に対して意見を述べ若しくはその諮問に答えまたは役員から報告を徴することができる。

#### (評議員の資格等)

第16条 評議員は、社会福祉事業に関心を持ち、または学識経験ある者で、この法人の趣旨に賛成して協力するものの中から理事会の同意を経て、理事長がこれを委嘱する。

- 2 評議員の委嘱に当たっては、各評議員について、その親族その他特殊の関係がある者が3名を超えて含まれてはならない。

#### (評議員の任期)

第17条 評議員の任期は2年とする。ただし、補欠の評議員の任期は前任者の残任期間とする。

- 2 評議員は再任されることができる。

## 第4章 資産及び会計

#### (資産の区分)

第18条 この法人の資産は、これを分けて基本財産、運用財産及び公益事業用財産の3種とする。

2 基本財産は、次の各号に掲げる財産をもって構成する。

- |      |                                      |             |
|------|--------------------------------------|-------------|
| (1)  | 鳥取県鳥取市湖山町西二丁目237番2                   | 1, 299. 29㎡ |
|      | 鳥取市三津字大浜1072番306                     | 61. 28㎡     |
|      | グループホームいくのさん家と小規模多機能型居宅介護いくのさん家の敷地   |             |
| (2)  | 鳥取県米子市富益町字米川西八4564番5                 | 578. 05㎡    |
|      | 鳥取県米子市富益町字米川西九4614番6                 | 248. 41㎡    |
|      | グループホーム井上さん家の敷地                      |             |
| (3)  | 鳥取県鳥取市湖山町西二丁目237番地2                  | 462. 73㎡    |
|      | グループホームいくのさん家と小規模多機能型居宅介護いくのさん家の建物   |             |
| (4)  | 鳥取県米子市富益町字米川西八4564番地5、同所字米川西九4614番地6 |             |
|      | 367. 33㎡                             |             |
|      | グループホーム井上さん家の建物・車庫・倉庫                |             |
| (5)  | 鳥取県米子市西倉吉町83番地3                      | 186. 37㎡    |
|      | 法人本部の敷地                              |             |
| (6)  | 鳥取県米子市西倉吉町83番地3                      | 115. 63㎡    |
|      | 法人本部の建物                              |             |
| (7)  | 鳥取県米子市西倉吉町83番地3                      | 81. 12㎡     |
|      | デイサービスまちくらの建物                        |             |
| (8)  | 鳥取県鳥取市松原字西前田112番1                    | 649. 29㎡    |
|      | 小規模多機能型居宅介護大郷いくのさん家の敷地               |             |
| (9)  | 鳥取県鳥取市松原字西前田112番地1                   | 187. 00㎡    |
|      | 小規模多機能型居宅介護大郷いくのさん家の建物               |             |
| (10) | 鳥取県米子市西倉吉町80番                        | 161. 02㎡    |
|      | 鳥取県米子市西倉吉町81番                        | 89. 12㎡     |
|      | 鳥取県米子市西倉吉町82番                        | 34. 11㎡     |
|      | 法人本部の敷地                              |             |
| (11) | 鳥取県鳥取市吉方温泉一丁目406番地                   | 123. 46㎡    |
|      | デイサービス吉方温泉いくのさん家の敷地                  |             |
| (12) | 鳥取県鳥取市吉方温泉一丁目406番地                   | 91. 37㎡     |
|      | デイサービス吉方温泉いくのさん家の建物                  |             |
| (13) | 鳥取県米子市西倉吉町88番の2                      | 169. 01㎡    |
|      | みんなの処の建物                             |             |

3 運用財産は、基本財産以外及び公益事業用財産以外の財産とする。

4 公益事業用財産は、第27条に掲げる公益を目的とする事業の用に供する財産とする。

5 基本財産に指定されて寄付された金品は、速やかに第2項に掲げるため、必要な手続きをとらなければならない。

(基本財産の処分)

第19条 基本財産を処分し、または担保に供しようとするときは、理事総数の3分の2以上の同意を得て、鳥取県知事の承認を得なければならない。ただし、社会福祉・医療事業団に対し

て基本財産を担保に供する場合には鳥取県知事の承認は必要としない。

#### (資産の管理)

第20条 この法人の資産は、理事会の定める方法により、理事長が管理する。

- 2 資産のうち現金は、確実な金融機関に預け入れ、確実な信託会社に信託し、または確実な有価証券に換えて、保管する。

#### (特別会計)

第21条 この法人は、特別会計を設けることができる。

#### (予算)

第22条 この法人の予算は、毎会計年度開始前に、理事長において編成し、理事総数の3分の2以上の同意を得なければならない。

#### (決算)

第23条 この法人の事業報告書、財産目録、貸借対照表及び収支計算書は、毎会計年度終了後2ヶ月以内に理事長において作成し、監事の監査を経てから、理事会の認定を得なければならない。

- 2 前項の認定を受けた書類及びこれに関する監事の意見を記載した書面については各事務所に備えて置くとともに、この法人が提供する福祉サービスの利用を希望する者その他の利害関係人から請求があった場合には、正当な理由がある場合を除いて、これを閲覧に供しなければならない。
- 3 会計の決算上繰越金を生じたときは、次会計年度に繰り越すものとする。ただし、必要な場合には、その全部または一部を基本財産に編入することができる。

#### (会計年度)

第24条 この法人の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日をもって終わる。

#### (会計処理の基準)

第25条 この法人の会計に関しては、法令及びこの定款に定めるもののほか、理事会において定める経理規程により処理する。

#### (臨機の措置)

第26条 予算をもって定めるもののほか、新たに義務の負担をし、または権利の放棄をしようとするときは、理事総数の3分の2以上の同意がなければならない。

### 第5章 公益を目的とする事業

#### (種別)

第27条 この法人は、社会福祉法第26条の規定により、次の事業を行なう。

- (1) 居宅介護支援事業の設置経営
- (2) 日中一時支援事業の設置経営
- (3) 生活支援事業の設置経営

2 前項の事業の運営に関する事項については、理事総数の3分の2以上の同意を得なければならない。

(収益が出た場合の処分)

第28条 前条の規定によって行なう事業から収益が生じた場合は、この法人の行なう社会福祉事業または公益事業に充てるものとする。

## 第5章 解散及び合併

(解散)

第29条 この法人は、社会福祉法第46条第1項第1号及び第3号から第6号までの解散事由により解散する。

(残余財産の帰属)

第30条 解散（合併または破産による解散を除く。）した場合における残余財産は、理事総数の3分の2以上の同意によって社会福祉法人のうちから選出されたものに帰属する。

(合併)

第31条 合併しようとするときは、理事総数の3分の2以上の同意を得て、鳥取県知事の認可を受けなければならない。

## 第7章 定款の変更

(定款の変更)

第32条 この定款を変更しようとするときは、理事総数の3分の2以上の同意を得て鳥取県知事の認可（社会福祉法第43条第1項に規定する厚生労働省令で定める事項に係るものを除く。）を受けなければならない。

2 前項の厚生労働省で定める事項に係る定款の変更をしたときは、遅延なくその旨を鳥取県知事に届け出なければならない。

## 第8章 公告の方法その他

(公告の方法)

第33条 この法人の公告は、社会福祉法人 地域でくらす会の掲示板に掲示するとともに日本海新聞に掲載して行なう。

(施行細則)

第34条 この定款の施行についての細則は、理事会において定める。

## 附則

この法人の設立当初の役員は、次のとおりとする。ただし、この法人の設立後遅滞なくこの定款

に基づき、役員を選任を行なうものとする。

理事長 井上 徹	理事 佐々木美幸	理事 蘆川英顕	監事 大羽和宏
理事 竹本道正	理事 助谷憲隆	理事 藤森秀樹	監事 中本喜八郎
理事 前田博子	理事 波多野和雄		
理事 木下恵介	理事 本池 峰		

附則（平成12年4月1日）

- 1 この定款は、鳥取県知事の認可の日から施行する。
- 2 この法人の当初の評議員の任期は、改正後の定款第17条第1項の規定にかかわらず、平成13年9月22日までとする。

附則（平成13年6月13日）

この定款は、鳥取県知事の認可の日から施行する。

附則（平成14年4月19日）

この定款は、鳥取県知事の認可の日から施行する。

附則（平成15年10月17日）

この定款は、鳥取県知事の認可の日から施行する。

附則（平成16年4月16日）

この定款は、鳥取県知事の認可の日から施行する。

附則（平成16年6月23日）

この定款は、鳥取県知事の認可の日から施行する。

附則（平成19年3月19日）

この定款は、鳥取県知事の認可の日から施行する。

附則（平成19年10月15日）

この定款は、鳥取県知事の認可の日から施行する。

附則（平成20年 4月15日）

この定款は、鳥取県知事の認可の日から施行する。

附則（平成21年 4月28日）

この定款は、鳥取県知事の認可の日から施行する。

附則（平成22年 1月25日）

この定款は、鳥取県知事の認可の日から施行する。

附則（平成22年 2月 9日）

この定款は、鳥取県知事の認可の日から施行する。

附則（平成22年 3月 4日）

この定款は、鳥取県知事の認可の日から施行する。

附則（平成22年 7月 2日）

この定款は、鳥取県知事の認可の日から施行する。

附則（平成23年 4月28日）

この定款は、鳥取県知事の認可の日から施行する。

附則（平成24年 4月 9日）

この定款は、鳥取県知事の認可の日から施行する。

附則（平成25年 5月 7日）



この定款は、鳥取県知事の認可の日から施行する。

附則（平成25年 7月25日）

この定款は、鳥取県知事の認可の日から施行する。

附則（平成25年 9月 2日）

この定款は、鳥取県知事の認可の日から施行する。

附則（平成25年10月11日）

この定款は、鳥取県知事の認可の日から施行する。

附則（平成26年 2月 1日）

この定款は、鳥取県知事の認可の日から施行する。

附則（平成26年 2月14日）

この定款は、鳥取県知事の認可の日から施行する。

附則（平成26年 4月 1日）

この定款は、鳥取県知事の認可の日から施行する。

附則（平成26年 8月 1日）

この定款は、鳥取県知事の認可の日から施行する。

附則（平成28年 4月21日）

この定款は、鳥取県知事の認可の日から施行する。